

2019年9月21日(土) 13:00～16:00

テレジン収容所の小さな画家たち

野村 路子 さん (テレジンを語りつくす会)



1937年東京生まれ。都立白鷗高校を経て、59年、早稲田大学第一文学部
 仏文科卒業。コピーライター、タウン誌編集長の後、新聞・雑誌にエッセ
 イヤルポルターージュを執筆、NHK・FM浦和でパーソナリティーをしてい
 たが、89年、プラハでテレジンの子どもの絵と出会い、その事実を伝
 えようと、チェコ大使館、ユダヤ博物館などと交渉、91年から日本で『テ
 レジン収容所の幼い画家たち展』を開催。数少ない生き残りの人たちへの
 インタビューをかさね、展覧会、執筆、講演活動を続けている。

『テレジンの小さな画家たち』で、産経児童出版文化賞大賞を受賞。ほかに、『15000人のアンネ・フラン
 ク』『子どもたちのアウシュヴィッツ』『テレジン収容所の幼い画家たち・詩人たち』『写真記録アウシュ
 ヴィッツ』(全6巻)など著書多数。テレジンの子どもの詩を中心に詩作・構成をした、朗読と歌によるコ
 ンサート『テレジン もう蝶々はいない』を全国各地で上演。2001年にはプラハ、テレジンでも上演した。



テレジン収容所を囲む高い壁

"ARBEIT MACHT FREI" - 働けば自由にな
れる

こんな美しい建物がゲットーに...

★ 場所；愛恵ビル 3F (公益財団法人愛恵福祉支援財団)

〒114-0015 東京都北区中里 2-6-1

→JR 山手線駒込駅(東口)から徒歩2分・

または地下鉄南北線駒込駅から徒歩7分

★ 参加費；1,000円 (当日会場で集めます)

★ 会場と資料準備で、事前に申し込みをお願いします

★ 企画・申込先；竹内 良男

電話 = 090-2166-8611 アドレス = qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp



第85回 テーマ(仮題) 被爆証言に向き合う ⑬ 義父の被爆体験記

2019年10月5日(土) 13:00～16:00

西村 桂子さん 岡崎 弥保さん

[戦後GHQの「検閲」を逃れて書き記された被爆体験記を出版するに至った
 お二人から、被爆体験に向き合うことの意味をお話していただきます]

第86回 テーマ(仮題) 長崎で被爆した韓国人「徴用工」の闘い

2019年10月12日(土) 14:00～17:00

河井 章子さん (韓国の原爆被害者を救援する市民の会)